(一) 第三千六百五十五號 (月曜日) 新京日日新聞 昭和八年二月二十七日 二十六日發行 (日刊) 大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

夕刊

新京日日新聞

定價 一部金三錢 一箇月金八十錢 郵稅 一箇月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 谷二郎

日本橋通驛前 中谷時計店 電話三八五四

全世界から經濟封鎖の際 移民問題はどうなる

海外移住の問題は國內の問題であると同時に國際問題である。國內問題と見るのはアメリカの如く移民を入れる國に於てはその國の主權によつてこれを制限し若しくは禁止し得る建前をとつてゐるからである然るに國際聯盟或は國際勞働局等に於てはこの移住の問題を出來るだけ國際協調によつて解決せんとしてゐるのであつて、その理想は人類の自由なる移動と人口の公平なる分布といふことにおかるのである此の見地よりして種々國際的に協議を遂げて來たのであつて曾て開かれたローマに於ける第一回萬國移民會議に於ては移民を出す國の立場よりして移民問題に關する原則の確立を討議し、第二回のハバナに於ける萬國移民會議に於ては移民を入れる國の立場よりして此の問題の原則を確立せんとしたのである、然して昨年第三回の會議が開催される筈であつたが遂に延期されて今日に至つてゐるのである

□

大体移民を入れる國として最も大きく自由な國は北米合衆國であり移民を出す國はロシアを除く歐洲各國であつた、歐洲大戰前には歐洲より年々七、八十萬乃至百萬の移民を北米に送つたが戰後に於ては自國の回復と合衆國側の制限によつて著しく減少し南北アメリカ、及び加奈陀を加へて年四五十萬人程度となつてゐるのである、我が國は勿論北米合衆國の移民法制定當時までは相當の移民を出したものであるが、その後は極度に減少せられてゐる事は周知の事實である

□

所謂移民問題は現在の狀況に於ては移民を入れる國は自國の要求する移民者をのみ歡迎するのであつて、この事は謂はば經濟的の問題となつてゐるのである、此の要求に從つて我が國の北米合衆國太平洋沿岸に移住するものは過去に於て漸次成功したのであるが制限立法制定の結果移民の入口禁止となつた事は既に敘述せる通りである、從つて現在世界に於て移民の可能なるは南米であり殊にブラジル聯邦二十二州中南緯二十四度海洋は依然として開放されたる沃野であり、コーヒー栽培の如きは機械化によるを得ざるため、人力を必要とするので將來に於ても囑望されるところのものではあるが、自國の國籍を離脫することを好まぬ歐洲移民はブラジル政府も之を好まず、知識の點に於て劣るポーランド人、ルーマニア人或はバルチック沿岸諸國の移住民の如きも、日本の移住者程歡迎されないのである、斯くて日本人の南米移住、殊にブラジル渡航は中央政府の認可援助と共に益々有望となり而もブラジル文化の開發に資する我が移住民の努力は漸く認められ、今後國際關係が如何に變化するともブラジル移民の上には差したる影響を受けないであらうと見られるのである

□

從つて此の見地よりすれば、國際聯盟と日本の正面衝突がたとへ經濟封鎖の如き舉措に出づるとしても、それによつて現在の移民が本國に引揚ぐるが如き事態が惹起するとは考へられず、更に日米間の衝突があると假定しても、わが南米移民に對して支障を來たすが如きは考へられない事柄であらう、次に國內の人口增加と生活資源の欠乏は勢ひ日本人の海外移住を必要とするが、最も有望なるものは滿洲新國家への移住である、滿洲は廣大なる資源を藏しその開業に法人力を要するものが甚だ多く、滿洲新國家の經濟的發展はやがて日本の最も重要なる一面であり、一朝經濟封鎖の如き事態の場合に直面して海外移住者の本國へ或は植民地への引揚げを見る場合の如きは最も必要なる移住の場所として之を確保することは動かすべからざる國策であらねばならない

□

之を要するに、現在の我が國移民の狀態は上來述べたる如く、極めて實質的に行はれつゝあるので、その蒙むる影響の如きは極めて些少なるを知り得べく、更に滿洲移住を行つてその經濟的發展に資するならば、今後日本が國際關係に於て危機に立つとするも敢て正論を捨てて降服するの辱めを受けないで濟むと思考せられるのである

雄基港擴築運動 羅津中心主義に刺戟され 期成會代表が必死的活躍

滿洲國建國から日滿交易に拍車をかけ北朝鮮に於ける東滿洲呑吐港の重要性を加ふるに至つたが、今回吉會國際鐵道終端港として羅津が指定せられ軒並候補競爭の雄基及清津は第二線に墮ちた、清津は朝鮮內地本位として充分に活きる途があるも、雄基は致命的打擊を蒙つたか未だ運動の餘熱醒めず雄基港では港灣擴築期成會代表が東上し目下商事研究會、港灣協會を動かし軍部の諒解を求め滿鐵に對し羅津築港總工費の一割を以て雄基に補助港的施設を設し龍水湖月に向つて二百間延長すれば羅津築港完成まで四ヶ年半有效に利用し得ると盛んに活躍中である(雄基)

新京日日新聞社 營業部 電三三〇〇番

樞府本會議 選擧法改正法律案上提

【東京廿五日發國通】選擧法改正案上程の樞府臨時本會議は、二十五日午前十時より陛下御親臨の下に宮中東溜の間に於て開會、衆議院選擧法中改正法律案帝國議會提出の件を上程、冒頭金子審査委員長より委員會の經過結果を詳細に報告し終つて採決の結果滿場一致委員長報告の修正に基き、改案の上最後、諮詢を奏請可決散會陛下還下さる

現內閣の企業合同統制策に對する反對聲明(八)

大日本生産黨

中島商相の反省を求む

上述の事實は中島商相の不用意にして無定見なる企業合同統制策の陰に躍る金融資本閥の醜き姿の一例であるが、斯くの如き事態を生ぜしめしは、中島商相の責任と云ふべきである

企業統制に依る効果は、企業財政の缺陷に對する善後處置を確立したる上において始めて期待し得るものであつて、殊に現機構の下に於て之が善後處置を無視したる企業の合同統制は、企業自體の持つ財政的缺陷より統制を策すのみならず、金融上の責任を國民負擔に轉嫁する必然性を有する罪であるが故に、輕々に斷行し難き事なのである

然るに中島商相が、此間の事情を知りつゝ無謀なる企業の合同統制を策する如きは、正に國民大衆を愚弄するものと云ふべきである。今や時局は非常時である、斯くの如き欺瞞的經濟政策が非常時局を打開し得ざるは言を俟たない、我黨は堂々として中島商相の欺瞞的企業合同策を排擊すると共に、之に依つて起りつゝある禍害を未然に防止すべく此の聲明書を發する次第である、然り現經濟機構の下に於て、完全なる企業統制の如きは夢想だも爲し得ぬ事であるのみならず、金融機關の改修なしに企業財政の建直しの如き爲し得ざる事なのである之我黨が金融機關の國營と産業的公營を提唱する所以である敢而、現內閣の企業合同統制策に對する反對を聲明して其反省を求むる次第である、我黨は最近に興業銀行、勸業銀行等の特殊銀行の財政的實狀を指摘して、之が企業經營的實狀に即したる整理策につき政府當局に對し質問書を提起する豫定である(完)

怪人凱歌(百五十八)

(誌上演映畫化) 須藤鐘一 (畫)瀧秋方

罪惡(十)

田代家の菩提寺は聚楽寺といつた。その本堂の西日の當る縁先で呉服行商人の岡野探偵長と、寺男の爺いやとは、四方山話に花を咲かせてゐたが、そのうちふと寺男が、

「關子さんも今じや口をぬぐつて涼しい顔をしてござるけれど、あれで中々の凄腕ですからな」と口を滑らした。

「凄腕と云ひますと?」と、すかさず問ひかけた。岡野の眼はキラリと光つた。

「ハツハヽヽヽ、いや、何でもありませんや。何でも、そんな事をいつてた人の話しを聞いただけなんです。それも、大方、人の出世を嫉むもの、惡口かも知れませんだよ」

寺男は調子に乘つて、飛んだことをしやべつたと氣がついたらしく、慌てゝ、前の言葉を打ち消すやうにいふのだつた。

そこで、岡野は「こいつ一筋縄では本音を吐かぬだらう」と察したので、一旦鋒をかへて、便所に立つた。

やがて、腰の手拭をとつて手を拭きながら元へ戻つて來た岡野はもう歸るかと思ふと、さうでもなく、又緣に腰を落ちつけたが、さつき便所で用意したものと見え、白紙にひねつたものを袂から取り出して、

「之れは、ほんのちよつぴりですが、いろ〳〵お世話になりましたから、お禮のしるしです」

と、寺男の手に握らせようとする。

「いや、そんなことをされる譯はありません。どうか、しまつておいて下さい」

と、手を引つこめて固く辭退する。

「なアに、そんなに云はれるほどのものぢやありません。さア、とつて下さい。又何かと御厄介にならねばなりませんから……」

「いゝえ、そんな事をされては、却つて困りますので……」

「まア〳〵、どうか之れを!」

押し問答の末、結局寺男はその紙包みを握らされた。その手觸りから想像しても、五十錢銀貨で四五圓はあるらしい、ずつしりとした重みに、日頃それほどの金も身につけた事のない寺男は、すつかり恐縮して幾度か頭をさげて禮をいふのであつた。

岡野探偵長が相手の感謝に充ちた心を利用して、うまく關子に就ての世間の風說秘聞の樣々を聞き出したのは無論である。

それによると、關子が蠣谷子爵家に行儀見習ひに行つてゐた當時夏木恒夫といふ青年と知り合になり、その間に双生兒が生れ、それを里子にあづけた事。その双生兒が無事に成人して、伯爵の死後山路家へ養子として入籍した慶彦と千鶴子である事等は、そんなに詳らしい秘密でもないらしい。

唯だ關子の愛人であり、二人の子供の父である夏木恒夫が、間もなく肺病にかゝり、久しく茅ケ崎へ轉地療養に行つてゐた事、その後關子と山路伯爵との緣談がもち上つた時、夏木は重態に陷つてゐたが、いよ〳〵緣談が進行して、式を擧げる間際になり、夏木は寂しく病を養つてゐた海岸の小さな借家の一間で、自分の吐いた血に染まつて斃れた事などは、隣近所にも初耳であつた。

「その夏木といふのは、どういふ身分の人だつたのですか?」

「さア、何でも蠣谷子爵家の書生だとか、遠い緣つゞきのものだつたとか聞きましたが、尙ほその人についての事なら、茅ケ崎で暫らく一緒にたべ物の世話をしたり、洗濯をしたりしてゐた婆あさんがゐる筈ですから、それにお聞きになれば、詳しいことが分りませう」と寺男。

「なるほど、その婆あさんは今も茅ケ崎にゐませうか?」

「ゐるさうですよ。洗濯のお婆あさんと云へば、あちらでも直ぐに分る名物女でしてな。―あちらでは、よく病人が小さな別莊を借りて轉地養生をしてゐますんで、さういふ家をまはり歩いて、汚れ物を集めて來ては、きれいに洗濯して屆けるといふのが、その仕事で、頼まれゝば泊りがけにお手傳ひもするのでしてな、夏木さんのとこにも暫らく泊りこんでゐたやうですから……」

日日案內 二行 一回金五十錢 被隱度 一同金三十錢 五行 一同金八十錢 十行 一同金一圓五十錢 姓名住址 申込みは 電話二三〇〇番

賃は三浦屋 貸出勉強、保管確實 新京祝町三丁目三(開花前) 三浦屋質店 電話三七七五番

急告 襖、張替、新調 迅速、叮嚀 大勉强 長春東二條通十六番地 文藻堂 青井表具店 電話三四六四番

日本刀劍(鑑定無料) 新古刀、研、白鞘本造拵付販 刀調製及賣買打粉、丁字油、(錆止)(槍と薙刀) 長春室町小學校前 井上示現軒 電話三三〇三番

ほねつぎ專門 今辨慶療院 新京室町公學校前

下宿案內所 東五條通及祝町五丁目角 滿八館 電三八〇二番

合服の御注文は 時代の先端を走る エスヤ洋服店に 電話二六一九番

御佛具 生花及造花 道具一切 加藤葬儀社 新京祝町二丁目 電話三二〇八番

小口金融 月賦、日賦、其他御相談に應じます 新興社 祝町二丁目四番地(西本願寺向右隣)

尺八 琴古流 指南 初心の方歡迎す 師範 西田方山 (ヤマトホテル裏)

滿洲國政府公報取扱 東朝、大朝兩新聞社發行物一切 大阪東京 朝日新聞販賣所 大每東日新聞 朝日舍 栃尾新聞舖 東一條通二二 電話三三四二番

洋帳簿 各種製本專門 三笠町三ノ九 三省堂製本所 電話三三三四番

下宿 常方素人家族的優遇ス 電話三二七〇番

圖案 ○一般廣告圖案 ○背景圖案其他 富士町六ノ二 萬合公內 ヒカル廣告社

オヒナサマ 新京の御孃ちやんの初節句の御祝に 內地から澤山參りました 吉野町一丁目 廣春洋行 電三〇五二番

三月雛人形陳列會 人形は東京生れ 作者は日本一の稱ある久月 多種取揃へ陳列致しました 皆樣の御批判と御選定を 御待ち申して居ります 日本橋通 正札の店 現代號 電話二一八八番

雛祭 三月お節句…… 日滿融和を多分に加味した 日滿雛 御殿 市松 小道具 各種陳列 三月一日は滿洲國のお誕生嬉悅溢る新輪の(日滿お雛樣)で共にお祝ひ致しませう ライオン號百貨店 新京三笠町三丁目 赤木洋行 電話二二七三 三八六九

營業案內 軍隊兵器手入材料揮發油、酒精、染料、膠 日本ペイント塗料カーバイトシクラツク 兵器及工業用諸油工業用品、各種ウエス 陸軍諸官衙御用達 田中商會新京支店 富士町三丁目十番地 電話長三四五八番 本店 旅順乃木町三丁目 支店 奉天平安通十一番地

御藥の御用は是非御電話にて 電話二四七六番 二六〇二番 吉野町二丁目一番地 東亞號藥房

取引先信用調查 終談調查及紹介 各種企業調查 人事秘密探偵 家屋及商品紹介 經濟事情通信 大正十年創業 全國各地同業聯絡 秘密嚴守 損害豫防機關 新京老松町十一番地 新京興信公所 電話三三五〇番

地洋服 合物新柄入荷 合服のお仕度を…… おからだにシツクリとあつて算盤に合つて 吉野町二丁目 横田洋服店 電話二一四八番

開店御披露 食道樂 吹雪 庖丁の切味と サービスの眞劍さ 自慢の食器で 元開花の千代が 朝日通領事館下 電話三八四四番 ミワヨシ

1933 帝都大流行の 合服新柄! 新柄豐富入荷 ●色合は茶と縞物が大歡迎…… 洋服材料商 松田洋服店 新京三笠町三丁目。電話二一四二番

內地三大都市流行仕立上り 東京小林甚太郎 大連三島屋 吉野町二丁目北滿旅館橫入 柳屋衣服店 電話三一五二番 洋服店製品販賣所

ほざいたりな英國

『軍事行動を熱河省内に局限せば斡旋の勞を惜まず』と サイモン外相の一言

(東京廿五日發國通) 日滿兩軍の熱河討伐に先ち外相は事前に英、米、佛、獨、伊の五關係列國駐劄大使をして夫々出先きに於て當該政府に對し

一、熱河討伐は滿洲國の治安維持の必要上已むなく遂行せる國内管轄問題たること

一、日本軍の協力は日滿議定書に依據する自衛權の發動に基くものなること

の二點に關し豫め諒解を求めしめた所五大國中英國側はサイモン外相より松平大使を通じて次の如き注目す可き回答を寄せ來つた

日滿兩國軍が行動の範圍を熱河省内に局限さるべき事を條件とし之を默認するものであつて、萬一本件が聯盟の俎上に上せられる場合と雖も日本側が前記條件を嚴守されるに於ては英國は締約各國に對し日本軍の行動を默認す可きことを諒承せしめる樣之が斡旋に努力する用意を有する

支那軍の侵入から發生したものは明

聯盟英米の警告あれば一蹴す

(東京廿五日發國通) 熱河討伐にて聯盟及英米列國が不當な警告をなし注意を喚起するとも見られてゐるが外務軍部兩當局は左の論據に基いて右警告を一蹴するに決定した

一、熱河省は地理的に滿洲の一部で昨年滿洲國建國の際同省民代表は之に參加し滿洲國の領土なる事は疑ひなし

一、熱河省には支那正規軍が潜入し居り、滿洲政府はこれが撤退を要求したが支那政府は肯ぜず

一、茲に於て滿洲國は國内治安維持の爲に反滿軍の討伐となる帝國政府は議定書によつて之を援助する

一、支那軍隊が依然熱河攪亂を續け、討伐の日滿軍に抵抗する場合事態の不幸な擴大を見るもかかる場合は滿洲國の撤兵要求を容れざる支那政府に責任がある

一、日、滿軍は平津地方の治安脅威の意圖なけれども平津地方の支那軍隊が在留邦人の生命財産に危害を加ふれば帝國政府は在支駐屯軍をして現地保護の措置を講ずる斯くの如きは熱河討伐とは別個に發生の問題なり

聯盟脱退後の善後策を内訓す

(東京廿五日發國通) 脱退後の善後策につき外務、陸軍協議の結果左の通り決定、事務局に内訓を發した

一、正式脱退通告と共にジユネーヴ帝國事務局を縮少する、二年後廢止する

一、理事會總會は缺席を通告する必要の場合代表代理を出席させる

一、軍縮會議には代表代理を參加せしめ專門委員會は從前通りとし二年後は非聯盟國としてオブザーバーを派遣す

一、勞働會議、經濟會議に二年間は正式代表を參加せしめ、その後はオブザーバーを出す

聯盟情勢及熱河討伐狀況を上奏

(東京二十五日發國通) 内田外相は午後二時三十五分參内、拜謁聯盟總會の經過と脱退事情、熱河討伐情況を委曲上奏、御下問に奉答し三時四十五分退下した

我陳述書をドラモン氏に手交

(東京二十五日發國通) 十五條第五項による帝國政府の陳述書は二十五日松岡代表よりドラモンド總長に手交された陳述書はジユネーヴ時間二十六日午前十一時、日本時間午後七時事務局から公表さなつてゐる

ドラモンド總長から 米露招請狀發送に決す

(ジユネーヴ二十五日發國通) 二十四日の總會で決定した諮問委員會は二十五日午前十一時より三十五分間最初の顔つなぎを兼ねた第一回會合を開き、米露招請を決定、ドラモンド總長から兩國に招請狀を發することとし更に英國代表エデン次官から極東に對する軍需品輸出禁止案につき各代表の見解を求め尚同代表は本問題を全般的に檢討する爲め、特に關係國間に分會委員會を設置し實行案を作成せしむべきことを主張した、これに對し各國代表は何れも贊成の見解を表明、次の會議までに十分右提案を研究すべきを約したなほ招請に對しては米露參加は確實と見らる

松岡全權壽府を去り 佐藤、松平兩大使居殘る

(ジユネーヴ廿五日發國通至急報) 松岡全權は四ケ月に亘る壽府滯在を終へ廿五日午後二時三十分思出多き壽府を出發しパリーに向つた、代表部の大半は今夜又は明朝壽府に起つが佐藤、松平兩大使は軍縮會議との今後の協力問題に對する政府の訓令到着せざる爲一兩日居殘る事となつた、

聯盟脱退の決定 二十七日閣議協議

(東京廿五日發國通) 緊急閣議は總理官邸に午後四時内田外相は聯盟經過を報告と共に列國の對日狀勢を紹介し荒木陸相は熱河討伐狀勢につき報告の後脱退に決したが代表部からの正式報告が未着の爲これが到着後二十七日の臨時閣議で決定の筈

岡代表は兩二日パリーに滯在、その後の旅程を決めること

軍縮會議には代表代理を派遣

(東京二十五日發國通) 内田外相は軍縮代表建川中將の辭任電報を接受したので午後四時からの緊急閣議で協議するが外務、軍部兩當局は之を許可し、大使館付武官級を派して、代表代理に任命し、軍縮會議に對し消極的に參加することとなつた

松岡代表は四月末歸國

(ロンドン二十五日發國通) 松岡代表は二十五日午後二時半ジユネーヴを發したがロンドン着後は一週間程滯在した上ワシントンに向ふ豫定で米國には更に二、三週間滯在し四月下旬淺間丸で歸朝することとなろう

米露の代表 近く決定

(ジユネーヴ廿五日發國通) 二十一ケ國諮問委員會の結果米露招請案が決定するや事務局では直ちにドラモンドの名で、米露兩政府に委員會參加の招請狀を發した、右招請に對し米國政府は直ちに受諾を回答す可くかつてオブザーバーとして理事會に出席したギルバートが米代表として委員會に出席するものと見られる、ソヴイエートは目下軍縮會議出席中の外務人民委員長リトビノフが二十六日ジユネーヴ發歸國後、本國政府と打合せの上決定するものと見られる

脱退の諮詢具体案兩三日中に決定

(東京廿六日發國通) 聯盟脱退に關し樞府に諮詢の具体案作成に着手する事になつたが諮詢案は脱退に關し聯盟事務局へ提出す可き通告書

一、右通告提出に伴ひ生ずる

一、ベルサイユ條約改訂の件

一、脱退通告後二ケ年間、帝國政府が負擔す可き義務

一、軍縮會議、勞働會議等の外聯盟主催の國際會議に對する措置

以上に關する調書から成る爲でその完了は數日を要すると見られるので閣議で諮詢案を決定

諮問委員會の聲明書 米露招請を決定

(東京二十五日發國通) ジユネーヴ二十五日の二十一國諮問委員會午前の會後左の如きコンミニケが發表された

日支紛爭事件を中止し且つ總會規約第三條第三項の下に於ける義務を遂行するのを援助する目的で、昨日の總會より創設された諮問委員會は本日セボールイーマンス議長の下に開會、委員會は總會の決議に準據し米露に對しその事業に協力すべきことを要請するに決した、委員會は英政府が極東の武器輸出に關し、その他の關係諸政府と交渉を開始した旨報告に接した、委員會はその事業に甚大なる關係あるべき右交渉經過につき絶えず報告を受くべき事を要請した、イーマンス氏は總會議長として右要請をなすものなる旨言明した、更に委員會はイーマンス氏の声明した一定の見解に基き委員長問題は次回の會議迄未決定の儘留保に決した

脱退通告は三月二十日前後か

(東京廿六日發國通) 帝國政府は勸告案採擇後の聯盟に對する態度方針を愼重協議中のところ、事務上の點から見れば大体三月二十日前後には脱退通告を聯盟事務局に通達することとなつてゐる然し乍ら此の上若し熱河問題に關し聯盟が積極的態度を示す如き場合、帝國の脱退通告は早められるに至るやも知れない

日本代表部陳述書 十六日午後壽府東京同時公表

(ジユネーヴ二十五日發國通) 日本代表部は二十五日午後第十五條第五項に基く陳述書を聯盟に提出した二十六日午前十一時(日本時間午後七時)ジユネーヴ東京同時に公表する事となつた

熱河行政確立の爲 錦州臨時辦事處設置

滿洲國で各地の辦事處長任命

(錦州廿五日發國通) 滿洲國政府では熱河討伐の進展と共に省内行政機關を復活する爲め錦州に國務院錦州臨時辦事處を設置し、古海總務廳主計處總務課長、川崎軍政部顧問大園警務司督察官をして行政指導員五十名を指揮して熱河の行政確立に全力を盡すこととなり、二十六日より事務を開始する、尚ほ承德の省公所辦事處長には前民政部總務司長中野琥逸氏を、赤峰辦事處長には赤武氏を、朝陽辦事處長には瀋陽縣參事官成澤直良氏が任命された、成澤氏は二十六日○隊本部と共に朝陽に出發赴任の豫定である

軍早くも各所に同志打 支離滅裂混亂狀態

(東京廿五日發國通) 陸軍省發表、滿洲國軍、關東軍に捕へられた敵捕虜と沿道民衆の陳述等を綜合すれば、熱河軍は既に戰意を喪失し續々退却中で全然統制無く、幹部は早くも逃げ出した者多く、支離滅裂の混亂狀態で各所で同志打ち起り、敗殘兵は常套手段の奪略暴行を行つてゐる到る處軍隊の進行容易で諸部隊の士氣益々旺盛である

茂木部隊開魯發 蒙古沙漠橫斷に入る

(通遼廿五日發國通) 開魯を昨日出發した茂木部隊は本日正午早くも○○○○を突破目的地○○に向け○○街道を前進中ここより所謂蒙古沙漠を橫斷することとなる

大凌河の凍結完璧 軍隊の通行容易

(錦州廿五日發國通) 案ぜられた大凌河の凍結狀態は完璧

皇軍綏東に入城 住民皇軍を大歡迎

(通遼二十五日發國通) 彰武を出發せる神代、飯田兩部隊は小匪を擊破しつつ二十三日哈拉套街に一泊、廿四日午後

學良の軍用飛行機二台 山海關上空飛行

(鞍山二十五日發國通) 二十四日午後學良軍用飛行機二臺は山海關上空に飛來し數分間監視を行ひ西方に飛去つたが航空術の熟練せるより判斷し外人航空士の操縱と計らる

英、米、佛兵營 陣地構築に着手す 窮鼠の支那軍來襲に備へ

(山海關廿五日發國通) 當地英、米、佛各國兵營ではこの數日來日本人さへ近づけず盛んに陣地を構築してゐる、右は九門口方面突破を斷念せる支那軍が直接日本軍守備隊を攻すべく企圖してゐるとの諜言が行はれてゐる爲めで日本守備隊より萬一支那軍來襲の場合の處置に關し非公式に念を押した爲であるが各國兵營では若し來襲の支那軍を阻止し得ざる場合は警戒線を[illegible]し傍觀せる方針だと

塘家口の敵主力を 早川部隊攻擊前進

(錦州廿五日發國通) 微弱なる敵を攻擊前進した早川部隊は二十五日午前八時頃塘家口附近の敵の主力部隊を攻擊しつつあり、又田中部隊は敵の抵抗をうけることなく前進した

四時綏東に入城、湯占麟は下窪に遁走した、住民は歡喜して皇軍を迎へ、皇軍の士氣旺盛なり

朝陽入城詳報

(錦州二十五日發國通) 二十五日午前十時三十分鈴木部隊の先遣部隊は朝陽の敵軍に對つて猛然と火蓋を切り攻擊又攻擊を加ふ、我軍の追擊急にして敵は朝陽城に據る暇もなく戰鬪暫時にして算を亂し西方に敗走し日章旗は萬歲聲裡にするすると北門上に揭げられた、かくて熱河南部の要地朝陽は我手中に歸した、肥馬に跨つた鈴木部隊長は幕僚を從へ住民の打振る日滿兩國旗の林の中を威風堂々入城した時に二十五日正午、この日空は一點の雲もなく晴れ渡り心氣爽快全軍の士氣益々旺盛である

(錦州二十五日發國通) 鈴木部隊は二十五日午前八時より午後一時に亘り全軍朝陽に入城を終り目下夫々指定の警備に任じゐる

三、二十一日早川部隊は千餘の敵を擊壞し北票を完全に占據し北票支線を確保した

四、二十四日滿洲國軍一部隊は開魯を急擊之を占據し、同軍は更に進軍を繼續してゐる

五、敵軍内部は動搖し徹底たるものあり桂堂軍約二萬は二十日反張通電を發し滿洲國に歸順し今次の討伐に參加してゐるが他にも投降者多數ある見込みである

六、關東軍並に滿洲國諸兵は意氣衝天の慨ありその戰略も極めて圓滿緊密で未だ各方面とも本當の衝突は見ないが戰は必ずして勝利を確信してゐる

敵主力部隊凌源に退却す

(錦州二十五日發國通) 我軍の猛攻に堪え兼ねた敵の主力部隊は凌源方面に向つて續々退却中

熱河正規軍が廿三日來挑戰の態度

(北票二十五日發國通) 朝陽から凌南、乾溝鎭、平泉方面に蟠居する第百十九、百二十九、百三十、百十六の四ケ師は此等各地を貫き半永久的に堅固な陣地を構築し一擊の下に擊破するとも暴息が頗る荒い、他方熱河の正規軍も廿三日から敵對行動を開始し來り學良に飛行機の來援を要求してゐる

前線各地の兩軍戰況詳報

(二十六日午前十一時關東軍發表) 二十四日午前十一時開魯に進入せる茂木部隊は一部を同地に殘置し主力は洮遼軍と共に興隆地に向つて南進を續行し二十五日夕ハセコト(開魯の南方約五十キロ)に達した

高田部隊は通遼出發後途中微弱なる敵の抵抗を排除しつゝ薄カ火燒廟を經て二十五日夕「オンドロハラ」(ハセコトの南方十キロ)に達し又神代部隊は同時頃綏東に進入せり朝陽に向へる鈴木部隊及び松田部隊は二十四日大白咬石門子溝附近(朝陽東方十キロ)の既設陣地に據る敵を擊退し二十五日午前十一時頃其先遣隊を以て朝陽に進入せり又同時刻飛行隊は朝陽南方約十二キロ飲馬池營子附近を建平方向に退却中の約二千の敵に對し爆擊を加へ徹底的の打擊を與へた凌源方面よりの情報に依ると凌源は若干の[illegible]あるも敵部隊らしきものの影なく市街の周圍に陣地らしきものもない

乘馬敵兵三百を空中から痛擊潰滅

(錦州廿五日發國通) 廿五日午前十一時朝陽東南方鳳凰山南方孫家灣附近を退却中の乘馬兵三百に對し我飛行隊は空中より攻擊を加へこれを潰滅せしめた

我勇敢な自動車隊 白石邊門を突破

(綏中廿五日發國通) 服部部隊より行動を開始した、先遣部隊は矢崎參謀の補佐を受け軍用自動車の快速を利用し一擧に敵の要害白石咀門を突破すべく○○幾零を從つて○○を出發した、最前線には靈僊の如き鄭桂林匪及精銳を以つて誇る○○軍あり一兩日中衝突を想豫される

熱河討伐開始に陸軍省重大聲明

(東京二十五日發國通) 熱河匪賊討伐に關し、關東軍司令官武藤大將は二十五日聲明書を發表したが、陸軍省でも同日左の如き聲明書を公表した

一、滿洲國政府は其の國軍をして國内の治安恢復の爲熱河省の肅正を斷行する事となつた關東軍は日滿親善の精神に基づき且日滿議定書の規定するところに從ひこの行動に滿腔の贊意を表しここに所要の兵力を以てこれに共同する事となつた

二、關東軍は滿洲國軍と緊密なる連絡を保持し二月上旬より準備に着手し既に之を完了したので、二十五日を期し各方面に一齊に行動を開始し、熱河省内に侵入しつつあり

帝國海軍の警戒

(東京二十五日發國通) 海軍省公表、海軍は日滿軍の熱河討伐に伴ひ排日暴行の勃發を考慮し、居留民保護に備へる爲め北支方面の嚴重警戒の配備につくと共に中南支にも相當の手配をしてゐる

上海方面の治安維持意見交換

石射總領事と吳鐵城

(上海廿六日發國通) 昨日正午石射上海總領事は市政府に市長吳鐵城を訪問、聯盟問題熱河問題に關し種々の噂ある折柄上海方面に於ける治安維持に關し意見の交換を行つたが此の會見に於て吳鐵城は、最近熱河問題其他に關し人々の間に異常の不安ある模樣なるも自分としては此等の不安を鎭靜せしめ問題の發生せざる樣努力しつつあるとの誠意ある意見を述べたので、石射氏もこの時局不安の折柄不良な支那人等が日本人に侮辱を加へる樣な面倒なる問題を起す虞れがあるので、一層注意取締りをされたき旨を希望し、兩者の間に上海方面に於ける治安維持に關し今後の諒解成り、熱河問題擴大を見るとも上海方面に於ては何等の問題も起さないものと見られてゐる

人事往來

▲秋山乘雪(哈爾賓領事)二十五日午前八時四十分發哈市へ
▲井上大佐(工兵監部)同上
▲高屋大佐(關東軍司令部)同上
▲邱仕元(呼蘭地方法院々長)同上
▲日下内務局長(關東廳)二十五日午前九時發奉天へ
▲津高警課長(同)同上
▲荒木領事(牛莊領事館)同上
▲鶴山登實氏(參謀本部附)二十五日午後零時三十分發奉天へ
▲金伯恭(執政府侍從武官)二十五日午後四時卅分發奉天へ
▲村山三等軍醫(第十師團)廿五日午後四時奉天から來京
▲濱田大佐(軍政部顧問)二十六日午前八時四十分發哈市に
▲李文炳氏(賓江警備司令官)同上
▲陳德才氏(吉林警備軍第八旅長)同上
▲花輪三次郎氏(奉天總領事)二十六日午前九時發南行
▲長尾司長(滿洲國警務司)同上

森永ミルクチョコレート
よい菓子を安心して買へる店 森永ベルトライン
吉野町 朝日堂 3590

黄金地獄から まづ救はれる

滿鐵と滿洲國が聯合して 糞尿場の移轉實現

糞尿の處分については各都市とも惱まされてゐるところだが、殊に新京では素晴らしい人口の増加につれて、これが根本的對策は目前の急に迫られてゐる、目下『城内』において處分されてゐるが風儀上からまた衛生上から見ても面白くないので根本的對策は追つて考慮するとして取敢えず急場を凌ぐため現在の火葬場附近に約四十坪の土地を選びこれに移轉することとし二十五日滿鐵および市政公署聯合でこれが實地調査を行つた、多分同地に決定することになるであらう、これで來る解氷期とともに人口の激増による『黄金』地獄から一時救はれることとなるわけで、當局でもホツトした形だが、なほ引續き根本的對策についても考慮されることになつてゐる

日滿教育聯合會發會式

新京日滿教育聯合會發會式は二十六日午前九時から新京女學校講堂で開催、準備委員小林新京公學校長の開會の辭があり推されて其儘座長となり司會、經過報告、會則討議も一瀉千里で形づけられ、會長副會長顧問の推擧は左の通り決定、

會長金特別市長、副會長荒木地方事務所長、名譽顧問鄭務總理、武藤全權大使、顧問許文教部次長、岡村關東軍參謀副長、栗原總領事、河本滿鐵理事、原田關東軍第三課長、西山文教部總務司長、上村同學務司長段縣長、橋口特別市總務處長笛同地方處長、勵崎地方委員議長、干荊山會長金壁東氏顧問關東軍岡村參謀副長の祝辭があり次で幹事の推擧、來賓の祝辭、會員の演説があつて十一時半頃盛會裏に閉會した

鄭垂氏の吊慰金を そつくり會社へ

會社ではその利子を以て 航空犠牲者救濟に

滿洲航空株式會社々長鄭垂氏逝去に付き同社では吊慰金として國幣一萬元をおくつたが鄭家では私すべきものでないとて左記の通りの書状を兒玉副社長宛送附して來たので同會社では協議の結果その費途について左の通り決定したと

拜啓 陳者今面 垂儀 逝去に付ては多大の御同情に與り辱なく存候特に吊慰金として國幣一萬圓を御惠與被成下候段感銘の至に不堪候然る處右は當家の私す可きものに非ずと存候に付茲に右金子全額を更めて貴社に寄托し今後航空事業に依る死傷者の爲に有益なる費途に使用する事と致度別包の通り及送付候間當家一同の意の有る所を御諒察の上可然御取計被成下度候 先づは御禮旁々右御依頼迄得貴意候 敬具

大同二年二月二十五日 故鄭垂遺族一同

滿洲航空株式會社 副社長 兒玉常雄殿

滿洲航空株式會社としては鄭家の高潔なる意圖を体し鄭垂氏航空事故者慰助基金として之を滿洲中央銀行に預金し其利子を以て今後航空事業に依る死傷者の爲有益なる費途に使用し鄭家の意ある所を永遠に遺さんとす

建國の佳き日に 執政夫人に人形を贈呈

全滿婦人團体聯合會から

曩に全滿婦人團体聯合會の會長に就任した武藤大將夫人は三月一日滿洲建國の紀念日をトして執政夫人に人形を贈呈することとしてゐる

『建國』のお祝と會長就任の御挨拶をすることとなつた、人形は大將夫人が東京三越に命じて謹製せしめ大連婦人團体聯合會に送り、本日關東軍司令部と事務打合の爲、來京した滿洲總務部長石本憲治氏が之を携帶して、新京婦人團体聯合會に引渡した人形は高さ二尺、純日本風の振袖を着た美しい娘の立姿で、同役員の手から執政夫人に贈呈の手續きをする筈である、因に全滿婦人團体聯合會は全滿各地の日本婦人團体の大同團結であつて滿洲事變の勃發以來出動軍隊、警官等の慰問、罹災鮮滿人の救濟其他に

『全力』を盡け、現に奉天、新京、哈爾賓の各地に兵士ホームを作り、家鄉を離れた兵士の爲に母となり姉となつて慰安を與へ、又近く奉天に隣保館を建てて育兒、出産、授産等鮮滿窮民の爲に温い手を伸ばさうとしてゐる

建國週年 大會順序

來る三月一日滿洲國建國週年記念大會は當日午前八時半大經路民政部門前大廣場で開會その順序は

一、官民一同入場
一、奏樂
一、國旗掲揚
一、國旗に向ひ三鞠躬の禮を行ふ
一、開會の辭、金新京市長
一、執政教書捧讀、執政府代表
一、鄭國務總理訓辭
一、祝辭、丁幹事長、武藤大使
一、萬歳三唱
一、閉會の辭、金市長

右終つて午後二時から新京高等女學校講堂で大祝賀宴が催される

青年同志會

建國記念大講演會 三月十二日高女で

滿鐵青年同志會では既報の如く來る三月十二日午後二時から新京高等女學校で本社後援のもとに建國記念大講演會を開催する、演題及び辯士は左の如くである

司會者 藤森 正平
開會の辭 長嶺 龍雄
一、滿洲を樂土とするものは誰か 稻嶺 一郎
二、東亞を亂す者 矢彥 澤豊
三、滿洲統治經濟の動向 北條 秀一
四、日滿經濟ブロックの危機 岡田 三郎
五、滿鐵特殊使命の發展 吉井 卓
閉會の辭 西岡 淳
映畫 瓦巻

飛行隊の大活動

朝陽附近で 討伐最初の爆撃

〔〇〇二十五日發國通〕〇〇飛行隊の〇〇機は二十五日午前十時十一分根據地を離陸し見事な飛行振りを見せながら寒風を衝いて一路西進朝陽の西南方十キロ飲馬池營子附近退却中の千餘名の敵匪に對し本討伐最初の爆撃を敢行多大の損害を與へて之を四散せしめた

敵將搭乘の 自動車に 見事一彈は命中

〔錦州廿五日發國通〕二十五日午前十一時半錦州飛行場を出發した森田中尉編隊長の〇機〇〇機は朝陽より西方に向つて逃れんとする約一千の敵匪を認め、これを爆擊多大なる損害を與へて歸還したが次いで八木中尉の〇機編隊は此の時こそ瞬時の間も與へず、銀翼を連ねて朝陽方面太平房方面に出動惡氣流を侵し同地附近に逃走中の敵匪數百の搭乘するらしき自動車に命中した、此の爆擊は最も效果的に行はれ敵匪の損害は莫大なるものあり、敵匪は恐れをなして四散したが次いで又敵匪に徹底的に打擊を與へた、約三回に出動した飯田編隊は太平房附近の上空より遙かに離散する敵の集團を思ふ存分に爆擊して午後二時二十分歸還した

田中三宅兩部隊 陣地の敵匪を擊滅

〔錦州廿五日發國通〕鈴木部隊に屬する田中、三宅兩部隊は二十四日午前十一時虹牛營子の南方に於て迫擊砲を有する敵匪を攻擊したがこの敵匪は第四一九團の步兵約一連で石門子口附近の構築陣地に據つて頑強の抵抗を試みたが我軍はこれを猛擊、日沒に至つて完全にこれを擊滅した、此の戰闘に於て敵の蒙つた損害は未だ明かならざるも我軍の射擊により多數の敵を斃し、我軍の損害は三宅部隊步兵大尉福澤直重輕傷外兵七名負傷田中部隊兵四名負傷

〔錦州廿五日發國通〕八木中尉を編隊長とする〇〇機〇臺は朝陽方面の敵匪に對し第二回の爆擊を敢行すべく午後一時十五分朝陽に向ひ、飯田大尉を編隊長とする〇〇機〇臺も午後二時八木機の後を追つて出動したが兩隊は承德方面に向け潰走する敵匪を發見し遺憾なくこれを爆擊潰走せしめた

牛豚鷄肉類 一割方値上げ

現在ではやりきれぬ

新京肉商組合では鷄肉、牛肉豚肉の値上方を新京署に嘆願してゐたが、同署では井上警部補が右肉類に就き嚴重な調査を行ひ、且つ沿線警察署許可値段を集め、數日に亘つて業者と研究を重ねた結果、左の如く値上をする模様である

	從來	
鷄肉	四七	六〇
豚肉	二八	三〇
並肉	一七	一八
上肉	二五	二八
ロース	二八(外) 三三(內)	三〇

電燈料値下運動に着手

范家屯地委例會で

范家屯の地方委員會例會は二十二日午後一時より地方事務所に開催し、來る三月廿七日の全滿地委聯合會に對する提案の件並に月極定期券の實施方要望の件を決議し、地方事務所提案の火葬場使用料改正の件を承認し、范家屯輿論の中心たる電燈料金の値下要望の件を可決し具体的運動に着手する事を申し合せた、范家屯電燈會社は獨立會社と雖も殆ど滿電の支配下にあり此の際滿電も株主の事情に同情して寬大なる態度を以て合併問題を進行せしめる要ありとされてゐるか、一株主が過大の要求されてゐる爲合併問題は行惱みとなり居れるも、一般在住民の福利增進の爲め滿電を激勵して合併を遂行せしめ値下の實施を一日も早からん事を祈つてゐる

第二回臨檢

新京署保安係では既報の如く二十四日午後六時から市内カフエー飲食店の一齊臨檢を行つたが同夜警官の目を巧みに盜み取締に應じなかつた不良女給が多數あるため同署では二十五日午後七時から第二回の臨檢を行つた網にかゝつたものはカフエー女給十四名であるいづれも無届女給として告發された

滿毛宿舍 十戸全燒

損害は約三千圓

二十四日午後五時半頃西滿毛織の第一宿舍一棟十戸全燒したが直に消防隊出動し同七時半鎮火した、原因は爐の煙突から屋根裏の鉋屑に引火したものらしく損害は三千圓である（奉天）

撞球泥棒 捕はる

岡山〇〇〇報社特派員山兒貞二（三二）は昨年二月岡山步兵第十聯隊從軍記者として滿洲に從軍中、昨年九月ハルビン文化協會クラブの撞球場で撞球四ケを窃取し、ハルビン埠頭區地段街青津三郎に七十圓で賣却してゐるを探知した新京憲兵隊では直に同人を逮捕した

首都警察廳 進級試驗

新京首都警察廳では警察官の進級方法として來る三月十日から管内の警察官に對し左の項目により試驗を行ふことになつた科目

一、警察法規
一、政府例規
一、違刑罪

新舊署長 歡送迎會

〔范家屯支局〕新京高等主任を命ぜられたる渡邊署長を送り新高橋署長を迎ふる歡送迎會は廿三日午後五時より滿鐵倶樂部に開催し主客五十余名出席頗る盛大裡に終了

武藤軍司令官 富嶽の扁額を贈呈

武藤軍司令官は三月一日の建國週年記念慶祝の爲め、日本精神を表徴する富嶽の大額を執政に贈呈すべく川合玉堂畫伯に揮毫方を依頼してゐたが此程完成して到着したので、本日午後十一時司令部第四課長坂田中佐は軍司令官の代理で執政府に赴き執政に獻上した、執政には殊の外御喜びでこれを受納された

寫眞機 蓄音器 貴金屬 時計 眼鏡 レコード充實 貴金屬類加工 輸入組合加盟店 親切本店 電3873 森洋行 新京中央通四八

武器輸出禁止案審議

（ジユネーヴ廿五日發國通）二十一ケ國諮問委員會第一回會議は二十ケ日午前十一時開會、米露の協力を求める件を審議し結局米露招請に決定、更に英代表エデン外務次官は極東に對する軍需品輸出禁止案に就き各國代表の見解を求めた、同代表は極東に對する武器輸出禁止問題を全般的に檢討する爲、特に利害關係の深い各國委員より成る分科委員會を再び組織して行案を作成せしむ可き事を主張し、之に對し各國代表は何れも大体贊成の見解を表明、次の會議迄に充分に右の提案を研究す可きを約した

二十五日の 衆議院本會議

（東京廿五日發國通）二十五日の下院本會議は午後一時二十五分開會 秋田議長 今期は既に三分の二に達したから今後は火木土以外の日でも本會議を開くと宣した後日程に入り、日本興業銀行法中改正法律案、藏相より提案理由の説明あり委員附託、保險業法中改正法律案、中島商相説明をなし委員附託、通信事業中特別會計法案、藏相説明をなし委員附託次いで七年度一般會計歳出の財源に充つる爲の公債發行に關する件委員長金光庸夫氏より報告をなし、委員長報告通り原案可決船舶安全法案外一件上程、向井靜雄氏委員會の經過結果を報告、原案とも可決、上田孝吉氏の動議により日程を變更し、地租法中改正法律案外四件を一括し急上程し委員長宮原傳氏報告討論に入る、川口義久氏、西脇晉氏小池仁郎氏等簡單に贊成論を述べ、委員長報告通り可決す水産法改正案中改正法律案外一件一括議題とし、鈴木委員長から報告異議なく可決、日程第十一條第十二條に至るまで上程、夫々關係者から説明あつて既設委員會に附託、保險法案を議題とし既設委員會に附託衛生組合法案外一件一括上程既設委員會に附託、午後三時半散會した

映畫だより

長春座に二十七日夜と二十八日晝夜聯盟社が左の映畫を提供する、林長二郎、田中絹代主演、八雲惠美子、飯田蝶子、江川宇禮雄若水絹子、鈴木歌子、岩田祐吉川田芳子、高尾光子、藤野秀夫助演の金色夜叉と市川右太衛門大江美智子共演の江戸へ歸つた退屈男入場料は大人八十錢軍人學生四十錢小人二十錢である

天氣と氣象

南西の風晴 最高零下十二度 最低零下二十六度〇

自三月一日
至三月七日
奉祝の爲め御買上金壹圓毎に商品券進呈

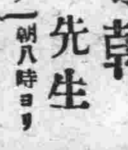
建國一周年紀念大賣出し

冬物掉尾の大英斷！
春向新柄を加へての大奉仕！

新京日本橋詰
新京百貨店
電話代表 三七三七 三一六一番

臨時休業廣告
來ル三月一日ハ滿洲國建國紀念日ニ付祝意ヲ表シ臨時休業可仕候
昭和七年二月二十七日
新京組合銀行
新京銀行
朝鮮銀行新京支店
滿洲銀行新京支店
正金銀行新京支店
正隆銀行新京支店

滿洲語講習生募集
一、講習開始 三月二日
一、講習時間 午後一時より三時まで一班（教科書急就篇） 午後三時より五時まで一班（教科書簡易支那語會話篇） 午後六時半より八時半一班（教科書急就篇）
一、講師 北京人
一、講習料 一ケ月金二圓
一、特長 初歩より懇切に教授す
昭和八年二月
拓殖大學經營新京講習所
場所 新京日出町六丁目二番地（富士町通り取引所東）

運命鑑定
東洋一の稱ある豫言の大家
大日本心理學會長
泰幹（タイカン）先生

二月廿六日ヨリ 三月三日マデ（朝八時ヨリ 夜九時マデ）
場所 新京演藝館前 常盤旅館内
贊助員 新京地方事務所長荒木章殿 滿鐵各地方事務所長殿 滿銀正隆各地支店支店長殿
運命鑑定

開店御披露
（理髪業）
清爽◎ 輕快◎ 雅稚◎
新京中央通二六（長春神社前角）
理髪部 イヅミ軒
電話三三三一番

原作尾崎紅葉 監督野村芳亭
林長二郎・田中絹代 共演
金色夜叉
八雲惠美子、若水絹子、川田芳子、飯田蝶子、鈴木歌子、高尾光子、江川宇禮雄、岩田祐吉、藤野秀夫
解説 新人 奥一郎
廿七日、廿八日兩日公開
廿八日は晝夜二回

見よ空前の大キヤストを見よ
市川右太エ門 大江美智子 共演
江戸へ歸つた退屈男
好番組 本年中の
間奏樂 滿洲國々歌 KOスズキバンド演奏
入場料 大人 ¥80 學生軍人 ¥40 小人 ¥20
聯盟社提供
長春座
今週こそ スペツシヤルシヨウ

凄艶紅涙双

（二一八）

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

ただ見る、屍山血河の巷！大和守安定は、やをら、翰走つた。

「南部浪人、是合雄馬はをらぬか、一條甲子松だぞ出合へ出合へ、出合へ。」

例によつての大音聲。

「おお、小天狗だッ、今日こそは、奴をからめとれッ。」

猛りたつた奇兵隊士、忽ち、四方からまつてかゝるだが、劍豪甲子松、今日を最後と荒狂ふ切尖は、電光石火、――またたく間に血しぶきあげて刀下に、倒れ伏すもの十數人――その間に甲子松は、躍進また躍進、つひに町角の廣場に出て、土手を楯にさつて仁王立、血刀を右手に、兩眼は、するどくひかつて、ただ、雄馬の姿をもとめるの光、時しも、

「小天狗覺悟！」叫びざま詰めよつた奇兵隊氣鋭の猛士數名。

「えい、面倒な！」

甲子松は、直ちに、身構へていきなり、間近の敵を二名斬りすてだ一刹那。

「おお、その敵、俺にまかせてくれッ」

壯烈な叫びもろとも突如右からきりかかつた新手の敵甲子松さつさにひきはづしてぐつと睨めつけた一瞬！。

「おお、雄馬！」

「うむ、甲子松、こゝで出會つたか天運、潔く決戰におよべ」

「ばかめッ、俺は、まだ死にたくない！」

吐きだすやうに叫んだいつもの言葉、同時に輕捷甲子松何おもつたか、やをら、刀を引いて、身をおさもし、土手をさびこえるなり素早く町の裏手へ逃はしつた。

「小天狗、逃げるか！」

罵聲、一齊に浴びせられただが、つづいて、土手を乘り越えてゆくまに消ゆくものは

雄馬、ただ一人。――他は、ふたたび、踵をかへして、亂鬪中にまぎれ入つた。

甲子松は逃げる。

――土塀、畑の畝、だらだら阪。

その度毎に、ちら、ちらッふりむいては、追せまる雄馬のすがたを確めながら、ひたばしりに逃げる。

ついに、朱の鳥居をくぐつて、こんもり繁る森の中に、飛び入つた。――

藥師の境内である。

「卑怯者めッ、この期におよんで尚、逃隱れ致すか！」

大喝一聲。――

雄馬は、白刃をふりかざして、その後に迫すがつた。

「雄馬めッ、今さら逃隱れ致すものか、雄馬！まゐれッ」

振むいた甲子松、くるり、愛刀大和守安定を中段にさつて、北辰一刀流得意の構へ。

「おう、それこそ望むところ――卑怯もの、覺悟！」

「フッフッ……何さでもいへ幸ひ、邪魔者一人居らぬこの場所斬るか、斬られるか、最後の一騎討ぢや、いざ！」

「むゥ――」

――やつぱり、甲子松は、男だつた。亂鬪中のもつれを恐れ、わざと逃げはしつて、雄馬を、ここまでおびきよせ、潔い決戰を試みんさ、したのであつた。

甲子松の挑戰に、早くも、その言外の意味を悟つた雄馬は、憤怒に猛り狂つた胸中に一味、なごやかな親愛の情がながれるのを感じた。

「雄馬！何をためらふ、互ひに待ちにまつた絶好の機會を空しく致すつもりか、參るぞ！」

こえ諸とも、銳刃、忽ち雄馬の眼前に、きらめいた。

二月二十七日 舊二月四日 月曜 甲子 大安 開 畢宿

●一白の人 物事滯り勝ちの日沈着なる態度なるに吉し 丙と丁と亥が吉
●二黑の人 心配間違等は少なく儲けの割合に多き吉日 乙と辛と壬が吉
●三碧の人 和合を重んじ着實にして突飛の企なきに吉 丙と庚と亥が吉
●四綠の人 自己の一丁箇にて謀らば失敗目上に謀るが吉 丙と丁と亥が吉
●五黃の人 吉日なれども勝氣に乘る時は運氣を亂だす 甲と辛と壬が吉
●六白の人 自然に幸福を受る日建築旅行企業何れも吉 乙と辛と亥が吉
●七赤の人 次第に幸運に向ふべきなれど增資と新事凶 甲と乙と庚が吉
●八白の人 寶の山に入りながら手に入らぬ事骨折あり 乙と辛と壬が吉
●九紫の人 溫和にして急功を望まぬ樣心掛くるが安全 丁と壬と癸が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行（每偶數日午前十時出帆）
うらる丸 二月廿六日
香港丸 三月二日
うすりい丸 三月四日
ばいかる丸 三月六日
亞米利加丸 三月八日
はるびん丸 三月十二日

●切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ヂャパンツーリストビユーロー案內所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃一割引通用期間三ケ月）
●專屬荷扱所
大阪商船株式會社 大連支店 電話四三七番 四〇八九番
奉天出張所電話二二一六番 新京出張所電

營業科目
メタルカップ 徽章 金鈕 マーク 金銀盃 紀念品 其ノ他勳章 略章類一式
▽專門製作△
御一報次第型錄進呈
東京 明治徽章商會 奉天出張所
奉天木曾町七ノ八（電話四三五九）東京屋

印刷機械及材料 各種印刷と製本
卸小賣 北原紙店 電話三二四一 三七〇九

自信を持て各家庭に御薦め致します
白米にビタミン、マンガン、カルシユーム鐵分等最も必要な營養素が欠乏して居る事は論じ盡されて居ますが此の度發賣致しました
特選 水晶米
高級 胚芽米
は石粉を一切使わぬため是等の欠點を完全に補ひ
美味……營養……經濟
の三拍子揃つて居ます、入目の正確と品質の優良な點でも責任を持つて御勸め致しますから是非御使用御願ひ致します、尚當分の間は一叺毎に御化粧ぬかを御添へ致します
御用命は
富士町四丁目 福田商店精米部 電話三〇八七番 三一〇三番
發賣元
三笠町四丁目 日隆號精米所 電話三一七番 三七四八番
又は
特約店
今田商店 二九三三　坂本商店 二九四一
德本商店 三四三二　三浦洋行 一五六七
調辨所 二〇七三　清家商店 二九八六
丸德商店 一三三三　杉尾商店 三四〇六
丸平洋行 二六四〇　裕和祥 三一七〇（いろは順）
御氣に召しましたら御知り合ひの方々にも御勸め下さい

春向半衿紐類 縫糸と小間物
豐富着荷
京染取次ぎを初めました御用命は御電話で
牛衿 帶メ 縫糸 紐類 小間物
㋕商店 新京吉野町二 電話三〇九二番

營業品目案內
マーキ籐椅子各種入荷 室內裝飾品 內外各織物 敷物種々 西洋家具類
日本通り四十六番地
横山洋行支店 電話三八三一番
本店所在地 奉天浪速通二十七番地 電二三九〇番 振替口座大連二六四〇 發電略號ホヨ

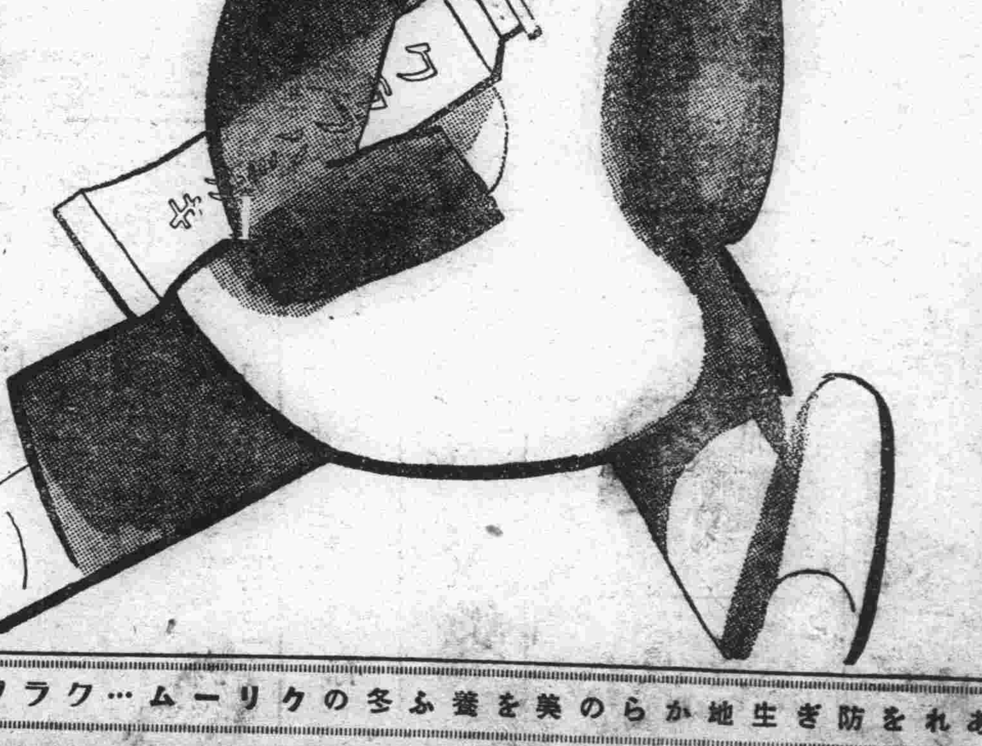
三月人形大陳列會
御殿。雛人形。小道具。市松人形。
各精粋を集めて優美な廉價の陣容を調て皆樣の御來店を御待ちして居ります
新京日本橋通 ㊉ 平本洋行 電二一五八

ほねつぎ專門
骨折。脫臼。捻挫。打撲。筋骨一切
清水整骨院 並ニ電氣治療部（東京整骨院卒業生）
關節強直。關節炎。運動麻痺。脊髓炎。子宮病。乳出不足。喘息。イボヂ。リウマチス。中風。ルイレキ。イボ。ホクロ。ガンメンマヒ。其他漫性諸病。
電話（取次）三七五四番 新京入舟町二丁目七番地ノ四 評王寺横路地一本目東入約半丁

煖房・水道・衛生工事・洋灰加工
其他附帶工事・建材製造販賣
工事請負 吉備洋行 電話二二八三番・工場二七六〇番

株式會社 正隆銀行 本店大連 頭取安田善四郎

クラブ齒磨



朝と食後は クラブ齒磨
肌あれを防ぎ生地から美を養ふ冬のクリーム…クラブ美身クリーム

新學期 御入學 贈答品は
◎森野商店に 御用命下さい 電二一五一番

羽根蒲團の購買會を初めました
御加入を願ひます
御一報次第お伺ひ申します
羽根蒲團製作販賣 山本商店 吉野町二丁目（北滿旅館南）
取次 電話二一三三番

旅館開業廣告
謹啓今般左記の處に旅館を開業致しましたから何卒御愛顧之程御願申上ます
旅館は御家庭の延長
新京吉野町五丁目一番地
愛國旅館 主 後藤かつ子 電話長二九四八番

女中數名募集

南滿▷ 大連開 周水子 金州 普蘭店 瓦房店 熊岳城 蓋平 大石橋 海城 湯崗子 鞍山 遼陽 蘇家屯 奉天到 奉天開 鐵嶺 開原 昌圖 四平街 公主嶺 范家屯 長春到 長春開 范家屯 公主嶺 四平街 昌圖 開原 鐵嶺 奉天到 奉天開 蘇家屯 遼陽 鞍山 湯崗子 海城 大石橋 蓋平 熊岳城 瓦房店 普蘭店 金州 周水子 大連到